

第七十四回 帝國議會  
衆議院

## 保險業法改正法律案委員會議錄(速記)第四回

付託議案  
保險業法改正法律案(政府提出)會議 昭和十四年三月一日(木曜日)午前十時三十  
分開議

出席委員左ノ如シ

委員長 田中 亮一君

理事寺島 権藏君

理事木村 淺七君

理事金澤 正雄君

理事西川 貞一君

八木 逸郎君

服部 英明君

篠原 陸朗君

田尻 生五君

商工政務次官 今井 健彦君

商工省保險局長 牧 檜雄君

司法政務次官 倉元 要一君

司法參與官 濱野徹太郎君

司法省民事局長 大森 洪太君

司法省刑事局長 松阪 廣政君

○田中委員長 是ヨリ會議ヲ閉キマス——

○紅露委員 昨日所謂私ノ豫備的質問ヲ終

紅露君 リマシテ本論ニ入りマシタ所デ終ツテ居ル

ノデアリマスガ、司法省ノ政府委員モ御出

席デゴザイマスカラ、其ノ方ハ後廻シニ致シマシテ、司法省ノ關係ノ方ヲ先ニ御伺致シタイト思フノデアリマス、昨日御伺致シ掛ケテ居リマシタコトデ、所謂保險計理人ノ問題デアリマスガ、此ノ事ニ付キマシテハ、尙ホ今度ノ改正法案ニ命令ヲ以テ定ムルト云フコトニナツテ居リマスノデ、其ノ命令ノ内容ノ詳細ニ付キマシテハ、商工省政府委員ニ詳シク伺ヒタイノデアリマスガ、ソレニ付キマシテ一寸司法當局ニ御伺致シテ置キタイト思ヒマスカラ、重複ヲ致シマス、今度ノ法案ニ「アクチュアリー」ノ制度ガ初メテ設ケラレタノデアリマス、此ノ二三分司法當局ニ御聽キヲ願ヒタイト思ヒマス、今日ノ法案ニ「アクチュアリー」ノ制

スケレドモ、昨日ノ私ノ質問ノ要領ダケヲ、三三分司法當局ニ御聽キヲ願ヒタイト思ヒマス、今度ノ法案ニ「アクチュアリー」ノ制勅令ノ内容ガ出テ居リマセヌカラ、其ノ資格トカ或ハ職務ノ範圍ト云フヤウナ法律上ノ性質ニ付テハ分ツテ居リマセヌノデ、又詳シク伺ヒマスケレドモ、要スルニサウ云「アクチュアリー」ヲ設ケタ趣旨ハ、所謂九十條デゴザイマスガ、結局立派ナ「アクチュアリー」ヲ設ケタノダト云フヤウナ御當局立派ナ「アクチュアリー」ノ制

十條デゴザイマスガ、結局立派ナ「アクチュアリー」ヲ設ケタノダト云フヤウナ御當局立派ナ「アクチュアリー」ハ商工當局ノ御説明ニ依リマスト、會社ノ使用人ニスルノダ、從業者デアル、所謂雇傭關係ニ立ツノダト、斯チニアリ、又ハ「アクチュアリー」ハ商工當局ノ御説明ニ依リマスト、會社ノ生活ノ保障ヲサレ、會社ニ選任サレ、ウ仰セラレルノデアリマス、サウスルト會社カラ生活ノ保障ヲサレ、會社ニ選任サレ、松ガ主人ノ爲ニ命ヲ捨テタ、是等ハ昔カラ幾ラモアルコトデ、日本人ノ特有ノ精神狀態デアリマス、マア昔ノコトデナクテモ此ノ頃問題ニナツテ居リマスガ——名前ハ避ケ

マスケレドモ、或省ニ疑獄事件ガ起ツタ、  
ラヌカト云フヤウナ際ニ、アノ金ハ選舉  
費用ニ出シタノダト、某代議士ガ何モ彼モ  
ペラ／＼喋ツタ時分ニ、何處ニ行キマシテ  
モ、何處ノ政黨ノ俱樂部ニ行キマシテモ、  
某代議士ガヤハリ自分ガ引ツ被ツテシマツ  
タラ宜イデヤナイカ、自分ニ非常ナ迷惑ヲ  
掛ケテ居ルノナラ兎モ角、是マデ緣故ヲ受  
ケ、後援ヲ受ケ、支援ヲ受ケテ居ル、何モ  
某國務大臣ヲ庇護スルト云フ意味デハナイ  
ケレドモ、此ノ政治的生命ヲ斷ツヤウナコ  
トヲセヌデモ、ドウセイケナインナラバ、自  
分ガ引ツ被ツテシマツタラ宜イデハナイカ  
ト云フヤウナコトモ考ヘラレル、是ハ相當  
社會ノ上層階級ニアル人デモ、サウ云フヤ  
ウナコトヲ言ツテ居ル、ソレガ常識ナシダ、  
況ヤ刑法ニ於テモサウ云フ刑罰モ科シテ居  
ナイト云フノニ、何等此ノ九十條ニ付テ地  
位ノ保障ヲ與ヘズシテ會社ニ選任サシテ、  
大ナコトヲヤツタツテ、到底法ノ期待スル  
コトハ出來ナイ、是ハモウ當然ナ話デアル、  
ソレデ私方豫備的質問トシテ司法省ナリ、  
厚生省ナリ、内務省ナリニ御相談ニナツタ

カト言ツタ所ガ、相談シタト言フ、聞ク所  
ニ依リマスト、無論新聞ニ出タコトハ本當  
カ嘘カ知レマセヌケレドモ、司法省デハ今  
ノヤウナ直譯的ナ法律ノ制定ヲ止メテ、日  
本ノ人情風俗ニ合ツタ法律ヲ制定シタイト  
云ノノデ、現鹽野法相ニナツテカラ、何カ  
懸賞的ニ論文ヲ募集シタヤウニ、新聞ニ傳  
ヘラレテ居ルノデアリマス、ヤハリ法律ハ  
其ノ國ノ人情風俗ニ合ツタヤウナモノヲヤ  
ツテ行クト云フコトガ、當然ダラウト私ハ思  
フノデアリマス、斯ウ云フヤウナ社會情勢  
デアリ、一般ノ常識ガサウ云フヤウニナリ、  
又高輪ノ泉岳寺ニ線香ノ煙ガ絶エヌト云フ  
コトハ――主人ノ爲ニ命ヲ棄テテ復讐ヲス  
ルト云フコトガ、善イカ、惡イカハ別問題デ、  
今日ノ如ク國家ガ刑罰權ヲ握ツテ居ル時ニ、  
ケレドモ、兎モ角ソレガ日本ノ人情風俗ニ  
適ツテ、所謂醇風美俗ノ現レントシテ參詣者  
ガ絶エヌノデアリマスカラ、サウ云フヤウ  
ナ意味カラ行キマシテモ、此ノ「アクチユア  
リー」ノ規定ハドウモ效果ガ現レヌト思フ、  
尙ホモウツハ司法省ガ此ノ御相談ヲ受ケ  
タ時分ニ御氣付キニナラカツタノカ、又  
ハ御氣付キニナツテ居ナガラ、尙且ツ御許  
シニナツテ居ルノカモ知レマセヌケレドモ、

斯ウ云フヤウナ重大ナ「アクチユアリー」ニ  
置キナガラ、尙且ツ重役ニモ亦重大ナ責任  
ヲ負ハシテ居ル、其ノ事ニ付テ決シテ法律ノ  
改正ガ悪イトカ、ドウトカ言フノデハナイケ  
レドモ、少クトモ九十條ニ依ツテハ商工省ノ  
狙ツテ居ルヤウナ結果ハ得ラレナイ、殊ニ最  
近ノ司法省ノ御方針ト反スルヤウナ條文ニ  
ナルヤウニ思フノデアリマス、之ヲ司法省  
ガ御相談ノ結果賛成下スツタノカドウカ、  
ソレカラ若シヤツタスレバ證憑湮滅、或  
ハ犯人藏匿ノ規定ト抵觸シハセヌカ、モウ  
ソレカラノ規定ト抵觸シハセヌカ、モウ  
一ツノ第三ノ御尋ハ、先程申上ゲタ司法省  
ノ最近ノ我國ノ醇風美俗ニ合ツタ法律ヲ持  
ヘテ行クノダト云フヤウナ御建前ト反シハ  
セヌカ、此ノ三點ヲ御伺シタイト思ヒマス  
○松阪政府委員 保險計理人ノ罰則ニ付テ  
ニ贊成シテ居ルカドウカ、ト云フ御尋ノヤ  
ウニ承リマシタガ、此ノ罰則ヲ設ケマスル  
ニ付キマシテハ、勿論司法省ハ御相談ヲ受  
ケテ、斯様ニ規定致シタノデアリマス、保  
險計理人ノ罰則ト致シマシテハ、百三十九  
條ト百四十八條ト、二ツ設ケテアルノデア  
リマス、固ヨリ計理人ハ會社カラ雇ハレタ  
一使用人ニ過ギナイノデアリマスルガ、其

ノ仕事ノ重要性ト云フカ、保險計理人ハ特  
別ノ技能ヲ持ツテ居リマスルシ、其ノ計算  
其ノ他ガ保險計理ノ基礎ヲ成シテ居ル重要  
性ニ應ジテ相當ノ刑罰ヲ以テ、普通ノ場合  
ニハ臨ンデ行ク必要ヲ感ジテ居ルノデアリ  
マス、即チ百三十九條ニ於キマシテハ、一使  
用人デハアリマスガ、單ニ保險計理人バカ  
リデナク、一般會社ノ使用人デアリマシテ  
モ、條文ニ明ニシテ居リマス通り、事業  
ニ關シテ或ル種類ノ、若クハ特定ノ事項ノ  
委任ヲ受ケタル使用人ニ對シテハ、取  
締役ト同様ニ特ニ背任ノ規定ヲ設ケタノ  
デアリマス、或ハ保險計理人ト云フ言葉ヲ  
省キマシテモ、多クノ場合ニハ特定ノ事項  
ノ委任ヲ受ケタル使用人ト云フコトニ、該  
デアリマス、或ハ保險計理人ト云フ  
當スル場合ガ多カラウト存ジマスガ、本法  
案ニ於キマシテハ、特ニ保險計理人ト云フ  
モノヲ設ケテ居リマスノデ、之ヲ百三十九  
條ノ主體ノ中ニ加ヘマシテ明確ニ致シタノ  
デアリマス、併シ實質ニ於テハ後段ニアリ  
モノヲ設ケテ居リマスノデ、之ヲ百三十九  
條ト百四十八條ト、二ツ設ケテアルノデア  
リマス或ル種類、若クハ特定ノ事項ノ委任ヲ  
受ケタル使用人ニ該當スル場合ガ、殆ド多  
カラウト存ズルノデアリマス、隨テ之ヲ加  
ヘマシタコトニ於テ、サシタル不都合ハナ

是亦先程申シマス通り保険計理人ノ致シマス仕事自體ガ、會社ノ計理ノ基礎ニナル重要ナ事柄デアリマスノデ、何處マデモ仕事ノ正確ヲ期スルト云フ必要ガアリマスカラ、若シ故意ニソレヲ確認シナイ、或ハ不正ノ確認ヲシタト云フコトニハ、ヤハリ刑罰ヲ以テ臨ムト云フコトハ必要デアラウト考ヘタノデアリマス、是ガ我國ノ醇風美俗、殊ニ司法省ノ最近ノ立法方針デアル醇風美俗ヤ、人情ニ悖ル所ハナイカト云フ御話デアリマスガ、保険計理ノ重要性カラ申シマシテモ、此ノ種ノ規定ノ必要デアルコトヲ感ジテ居ル次第デアリマス、ソレカラ又刑法ノ犯人藏匿等ノ規定ト矛盾シハシナイカ、權衡ヲ得ナイ點ガアリハシナイカト云フ御尋ねニ於キマシテハ、親族ニ付テハ犯罪ガアツテモ刑罰ヲ科セナイコトニナツテ居リマスガ、雇人等ニ付テハ左様ナ取扱ヒハシテ居ラヌノデアリマス、雇人ガ主人ノ爲ニ犯人藏匿ヲスルト云フヤウナ時モ、證憑ヲ湮滅スルト云フ時ニモ、處罰ハ免レナイノデアリマス、其ノ點ハ雇人デアル保険計理人上、不都合ハナイコトト存ジテ居ル次第デア

リマス  
○紅露委員 刑事局長サンノ御説明ハ、私ノ御尋スルコトト一寸違ツテ居ル點ガアルノデス、成程御説ノ通リデ御説明ヲ俟ツマデモナイ、併シ犯人藏匿或ハ證憑湮滅、ソレカラ百三十九條以下ノ罰則ノ重イカ輕イカト云フコトヲ伺ツテ居ルノデハナイノデス、サウ云フヤウナ重イ刑罰ヲ科シテ臨ムノデアレバ——モツト平タク申上げマスレバ雇人、雇傭關係ニ立ツ所ノ保険計理人デアルカラ、サウ云フヤウナコトヲシテ見タ所デ、此ノ九十條デ粗ツテ居ルヤウナ立派ナ保険計理人ハ、出來ナイノデハナイカト云フノデアリマス、何トナラバ保険計理人ガ本當ニ其ノ事務ヲ處理シテ行ツテ、サウシテ會社ノ惡イコト、會社ノ間違ツテ居ルコト、或ハ又不正ナ點ヲ——兎ニ角主務大臣ハ此ノ規定ニ依ツテ必要ガアルト認メレバ重役ヲ呼出サヌデモ、之ヲ呼出シテ調ベルコトガ出來ルノデスカラ、サウ云フヤウナコトヲシテ見タ所デ、サウ云フ惡イ點ヲ言ハヌルト云フ時ニモ、處罰ハ免レナイノデアリマス、其ノ點ハ雇人デアル保険計理人上、不都合ハナイコトト存ジテ居ル次第デア

リマス  
○紅露委員 刑事局長サンノ御説明ハ、私ノ御尋スルコトト一寸違ツテ居ル點ガアルノデス、成程御説ノ通リデ御説明ヲ俟ツマデモナイ、併シ犯人藏匿或ハ證憑湮滅、ソレカラ百三十九條以下ノ罰則ノ重イカ輕イカト云フコトヲ伺ツテ居ルノデハナイノデス、サウ云フヤウナ重イ刑罰ヲ科シテ見タ所デ、此ノ九十條デ粗ツテ居ルヤウナ立派ナ保険計理人ハ、出來ナイノデハナイカト云フノデアリマス、何トナラバ保険計理人ガ本當ニ其ノ事務ヲ處理シテ行ツテ、サウシテ會社ノ惡イコト、會社ノ間違ツテ居ルコト、或ハ又不正ナ點ヲ——兎ニ角主務大臣ハ此ノ規定ニ依ツテ必要ガアルト認メレバ重役ヲ呼出サヌデモ、之ヲ呼出シテ調ベルコトガ出來ルノデスカラ、サウ云フヤウナコトヲシテ見タ所デ、サウ云フ惡イ點ヲ言ハヌルト云フ時ニモ、處罰ハ免レナイノデアリマス、其ノ點ハ雇人デアル保険計理人上、不都合ハナイコトト存ジテ居ル次第デア

リマス  
○松阪政府委員 保険計理人ニ刑罰ヲ科シテ居ル點ハ、申上ゲルマデモナク主トシテ居ラヌノデアリマス、雇人ガ主人ノ爲ニ犯人藏匿ヲスルト云フヤウナ時モ、證憑ヲ湮滅スルト云フコトト、證憑湮滅トノ權衡ニヤツタト云フコトト、證憑湮滅トノ權衡カラ、アノ計理人ガ處罰サレタ、計理人ガ喚バレタト云フコトヲ傳ヘラレタダケデ、

既ニ其ノ會社ハ信用ヲ失フノデアリマスカラ、決シテ雇傭關係ニ立ツテ居ル者ハヨウ言ヒハセヌ、言ヘバ自分ガ誠ニナル、現ニソレハ成程犯人藏匿、證憑湮滅ノ時ニハ處罰シナイト言ヒマスガ、名前ハ言ヒマセヌケレドモ、某縣ノ或ル會計課長ガ、何百万圓カノ公金ヲ費消シタ、其ノ下ニ居ル屬官ヤ雇ハ、記錄ヲ讀ンデ見ルト知ラヌ筈ハナイガ——檢察當局ハソレマデヤツテ宜イト今刑事局長ハ仰シヤイマスガ、事實ニ於テヤツテ居リハセヌ、又ソレヲ知ツテ居ルダラウト思ツテモ、ソレヲ追究シテ行ツタ所デ、中々人情ニ反スルコトハ出テ來ルモノデハナイ、デアルカラ斯ウ云フヤウナ七年以下ノ懲役トカ或ハ一万圓以下ノ罰金、斯ウ云フ刑罰ハ刑法ニモナインデアリマスガ、サウ云フヤウナ重イ刑罰ヲ科シテ見タ所デ會社ニ雇ハレテ會社カラ生活ノ保障ヲ得テ居ル者ガ、斯ウ云フヤウナコトヲヤツテ見タ所デ、到底實行ハ期セラレヌノデハナイカ、期セラレヌノナラバ寧ロ他ノ適當ナ方法ヲ用ヒタラ宜イデハナイカト云フコトヲ、私ハ申上ゲテ居ルノデアリマス、仰セノ如ク刑罰ガ重イトカ輕イトカ、或ハ計理人ノ職務ノ重要性カラ云ツテ、當然ダト仰セラレルカラ之ニ從ハザルヲ得ナイデハナイカトルノハ、是ハ宜イト思フノデアリマス、昨

ノ委任ヲ受ケタル使用者ニ付テモ、同様ナコトガ申シ得ルノデアリマシテ、取締役ガ命ジタル場合ニハ、使用者ハ詰リ容易ニ取締役ニ反シテ行ヒ得ナイ、反対ノコトハ爲シ得ナイ事情ニハアリマセウガ、併シナガラ又使人獨自ノ立場、保険計理人獨自ノ立場ニ於テ、會社ノ爲ニ背任行爲ヲスル場合ガアリマス、固ヨリソレガ取締役ト幹部ノ命令ニ依ツテヤツタ云フヤウナ場合ニハ、主タル責任ヲ負フノハ取締役ナリ上ノ教唆ヲ命ジタ者デアリマスカラ、下ノ者ニ對シテハ運用上ニ於テ然ルベキ裁量ヲスル餘地ハ十分ニアルト考ヘマスルカラ、此ノ規定ノ趣旨ハ、專ラソレ等ノ保険計理人ノ獨自ヲ及ボスト云フコトヲ避ケタイト云フ趣旨カラ出タ次第アリマス

○紅露委員 立法ノ趣旨ヲ伺ツテ居ルノデハナインデス、今刑事局長モ御認メノヤウニ、普通ノ場合ニ於テ誰ガ何ト言ツテモ、傭ハレテ居ツテサウシテ雇傭關係ニ立ツテ居リナガラ、其ノ會社ノ不利益ニナルコトヲ言ヘト言ツテモ、ソレハ實際ニ於テ言ヘル譯モノデハナイ、現ニ四五日前デモサウデハアリマセヌカ、農林省ト商工省ト大分喧シク仰シヤツテ居ツタヤウデスガ、アノ

米穀會社案ノコトニ致シマシテモ、ヤハリ相當ノ御主張ト御主張ノ理由ガアル、アルケレドモイケナクナツテ來レバ、ヤハリソニオ居デニナル政務次官ノ今井サント松村サント折衝シテ、政治取引ヲシテ居ル、又此ノ頃豫算ガ大分遅レテ居リマス、ヤハリ軍部當局トシテハ相當ノ根據ト理由ガアツテ、主計局ノ方ニ御要求ニナツタモノニ違ヒナイノダガ、借テ又イケナケレバヤハリ大臣ガ政治取引ヲスル、是ハモウ世ノ中ノ常デ、サウ司法省デ御眺メニナルヤウナ單純ナコトデ行クモノデハナイノデス、殊ニ保険事業ハ、御承知ノ如ク協同的精神ニ基ク相互扶助ノ精神ニ立ツテ居リ、殊ニ信用ヲ基礎トスルノデアリマス、其ノ信用ヲ基礎トシ財界ニ重大ナ影響ヲ及ボス所ノ會社ヲ、起スカ寢カスカ潰ブスカ生カスカハ、是ハコンナヤウナ九十條ミタイナコトヲシタラ、計理人ノ一舉手一投足ニアルト云フコトニナル、ソレカラ是ハ後デ伺ハウト思ツタノデスガ、序デデスカラ

○松阪政府委員 一應御説御尤デアリマスガ、議論ニ互ルコトハ申上げマセヌガ、専ラ百三十九條ノ方デハ、保険計理人ガ自分ヲ利スル、或ハ第三者ヲ利スルカ、會社ヲ害スルト云フヤウナ場合ガアル時ニ、其ノ背任ヲ取締ルト云フコトガ、ドコマデモ

テ宜シイノデアリマスカラ、主務省カラ呼出ガ來ル、何れ行ケバ此ノ點ト此ノ點ト調べラレル、此ノ點ト此ノ點ノ取調ヲ受ケルゾ、俺ノ答辯如何ニ依ツテハ會社ハ潰レルカモ知ラヌ、是ハドウスルノダ、是ハ外國ニモ澤山例ガアリマスガ、保険會社ノミナラズ幾多ノ犯罪事實ノ裏ヲ、吾々ガ記錄ヲ讀ム時ニ想像シ得ルノデアリマス、ダカラ會社ニシテモ斯ウ云フヤウニ計理人ニ餘り力ヲ持タセルト、會社ハ計理人ニ脅カサレルト云フコトニナル、是ハ私ガ申上ゲルマデモナク刑事局長御存ジノコトデ、斯ウ云フ立場ニ置カレレバ幾多ノソコニ犯罪事實ガ記録ヲ通シテ吾々ノ目ニ映ルノデアリマス、斯ウ云フ點ニ付テハ餘リ計理人ニ重罰ヲ科スルト云フト、計理人ハ相當ノ地位ノ安固ヲ獲得シテ來ル、獲得シテ來ルト、今度ハ會社ガ計理人ニ脅カサレルト云フコトハ、火ヲ賭ルヨリ明カナノデス、サウ云フ點ニ付テノ御考慮ハナサツタノデスカ

○紅露委員 結局刑事局長ト押問答ヲシテ度ハ計理人ノ方ノ立場カラ見タイト思ヒマス、主トシテ司法省ノ政府委員ニ伺ヒタイス、居ツテモ仕方ガアリマセヌガ、要スルニ今度ハ計理人ノ方ノ立場カラ見タイト思ヒマス、主トシテ司法省ノ政府委員ニ伺ヒタイス、間バカリ商務局長ニ伺ヒタイノデアリマス、履債關係ニ立ツノダト云フ、隨テ使用者ダトカ、從業者ダトカ云フコトニナリマストトカ、不都合ハ——不都合デハナイ、實際ハ大局カラ見ルト會社ノ惡イ事、或ハ不備ナ點、不都合ハ——不都合デハナイ、實際ハ大局カラ、決シテ不當デハナイノデアリマスガ、要スルニ刑罰ニ至ラヌマデモ人間ノコトデスカラ、多少ノ不當トカ、不備トカ、至ラスカラ見ルト會社ノ惡イ事、或ハ不備ナ點、不當ナ點ヲ主務省ヘ申告スルノデアリマスカラ、決シテ不當デハナイノデアリマスガ、

締ガ嚴重ノヤウデアリマス、何トナレバ必要アリト認メタルモノ、或ハ其ノ業態ガ不良ト認メタルモノ、是ハ一ツモ程度ガナイノデアリマス、ドンナノガ不良ナノカ、ドンナノガ一體必要ナノカ、而モソレハ詰問機關タル委員會モ何モナクテ出來マスシ、主務省獨自ノ立場デ、此ノ會社ハドウモ不良ダ、此ノ會社ハドウモ營業繼續困難ダト云フヤウニ認メレバ、ポン／＼ヤレルノデアリマスカラ、隨テ計理人ニ對スル質問取調モ、亦サウ云フヤウナ風ニオヤリニナルコトト思フノデアリマスルガ、サウ云フヤウナ今司法省委員カラ御説明ノヤウナニ計理人ガ主務省ヘ呼出サレルト云フコトハ、度々出テ來ルト思フノデスガ、サウ云フヤウヌ、コンナ者ハ誠ツテシマヘ、誠ルトスレバ會社ハズルイカラ、無論オ前ハスウ云フコトヲスルカラト言ハズシテ、五人置イテ居ツタノヲ三人ニスルトカ、事務ノ都合デ辭メサストカ、何カ口實ヲ設ケテドン／＼誠ルト思フノデアリマス、之ヲ通讀シテモ斯ウ云フ場合ノ制裁ガナイヤウニ思

ノ牧政府委員 先程色々御尋ノ點ハ、刑事局長ヨリモ申上ゲラレタル通リニ、御尤ナ點ガアルノデアリマス、隨テ今紅露サンノ仰シヤルヤウナ、運用ノ如何ニ依リマシテハ、サウ云フ心配ヲシナクテハナラヌヤウナ場合ガアラカト思フノデアリマス、別段其ノ場合ニドウスルカト云フ特別ソレヲ處理スルヤウナ規定ハナインデアリマスガ、會社ノ業務ノヤリ方ガ悪い點ニ付キマシハ、監督規定ガ整備サレタモノデアリマスカラ、色々サウ云フ點ニマデ立入ツタ指導的ナ監督モ出來ヤウカト思ツテ居リマス、結局ソレニ對處スル方法トシテハゴザイマセヌガ、今申上ゲタヤウナ方法デ、出來ルダケサウ云フ弊害ヲ除カウ、又運用ニ付キマシテハ、今仰シヤルヤウナ場合ガ生ジナイヤウニ出來ルダケ注意シタイト思フノデアリマス。

○紅露委員 運用ナサルニ付テハ、無論深甚ノ御考慮ヲ御拂ヒ下サルコトハ結構デアリマス、非常ニ圓滑ナ御答辯デスガ、要スルニ結論ハ會社ガサウ云フヤウナ計理人ヲ誠ツテモ、何等ノ制裁ハナイト云フコトニスルノデアリマス、サウスルト結果、昨日ナルノデアリマス、サウスルト結果、昨日モ保険局長サンノ御説明ノ通リニ、實際九條ハ立派ナ「アクチュアリー」ガ欲シイカ

○牧政府委員 先程色々御尋ノ點ハ、刑事局長ヨリモ申上ゲラレタル通リニ、御尤ナ點ガアルノデアリマス、隨テ今紅露サンノ仰シヤルヤウナ、運用ノ如何ニ依リマシテハ、サウ云フ心配ヲシナクテハナラヌヤウナ場合ガアラカト思フノデアリマス、別段其ノ場合ニドウスルカト云フ特別ソレヲ處理スルヤウナ規定ハナインデアリマスガ、會社ハ理窟ヲ付ケテドン／＼誠ツテ行クト思フ、サウスルト結果計理人ハ九十條ヲ設ケラレタ爲ニ、却テ其ノ地位ノ不安ヲ感ズルト云フ結果ニナルト思フノデアリマス、サウスルト結果九十條ハ、商工省ガ狙ツテ居ラツシヤル立派ナ「アクチュアリー」ヲ設ケルト云フコトハ裏切ラレテ、サウシテ徒ニ不結果ニ陥ルト、斯ウ云フヤウニ思フノデアリマスルガ、此ノ點ハ御考慮下スツタノカ、下サラナインカ知リマヌガ、私考ヘマスルニ、是ハ司法省ナリ、或ハ商工省デ御注意ヲ下サラナケレバナラヌ點ダラウト思フノデアリマス、ト申シマスルノハ、此ノ度初メテ持ヘルノデアリマスルカラ、モウ少シ慎重ニ刑罰ノ點ナリ、雇入ノ點ナリ、「アクチュアリー」ノ制度ハ、御承知ノ通リ今ノ方ニオ氣ニ入ルヤウナコトヲスレバ、會人ニシタ所デ、眞面目ナコトヲ言ウテ役所ノ方ニオ氣ニ入ルヤウナコトヲスレバ、會社ハ誠ニナル、會社ノ氣ニ入ルヤウナコトヲシ、會社ニ忠實ナラントスレバ直グニ、今刑事局長サンノ御説明ノ通リ、重イノハナ馬鹿ゲタ刑罰ハ未ダ曾テ私ハ見タコトガナイ、計算ヲ一寸間違ヘタ、準備金ノ整理ナマ鹿ゲタ刑罰ハ未ダ曾テ私ハ見タコトガ

ツテモ、五分ノ一以上ハ外ヘヤツテハイカ  
スノダトカ言ツテ、ソレヲ一寸間違ツタカ  
ラ規定ニ反シタ云フノデ、直グ罰金ヲ科スル、  
懲役ニスルト言ツタラ、恐ラク計理人ニナリ手  
ガナイグラウト思フ、役所ニ呼出サレテ嘘ノ  
コトヲ言ヘバ、刑罰ニ處セラレルニ違ヒナイ、  
本當ノコトヲ言ヘバ會社ガ誠ニナル、立派ナ  
計理人ドコロデナイ、計理人ニナリ手ガナイト  
思フ、恐ラクサウ云フ奇ナル現象ガ、此ノ  
九十條ニ依ツテ將來ハ現ハレテ來ルト私ハ  
思フ、此ノ點ニ關シテ刑事局長ナリ、或ハ保  
險局長サンガ御者慮ニナツテ居ルカドウカ、  
計理人ニナリ手ガナクナルヤウナ結果ニナ  
リハシナイカト云フコトヲ伺ヒタイ

モウ一つ刑事局長サンニ御注意願ヒタイ  
ノハ、此ノ刑罰ハ出來テ居ルノデアリマス  
カラ、何レ本院ニ於テ若シ不當ナリトスレ  
バ、修正ナリ或ハ削除ナリノコトニナルノ  
デアリマスガ、一應諒承シマシタガ、今モ  
一寸仰セノ通り、犯人藏匿或ハ證憑湮滅ニ  
付テハ親類デナケレバナラヌ、親類以外ノ  
者ハ皆處罰スルノダ、雇人ガヤベヤツ付  
ケルノダ、斯ウ云フ頭デ苟モ司法省ノ主腦  
部ガ御臨ミニナツテハ、洵ニ酷グラウト思  
フ、例ヘバ今度ノ事變ニ付テモ、御承知ノ  
通り特別例ガ設ケラレテ居ル、内縁ノ妻デ

アツテ子供ガ五人モ八人モアルノガ應召シ  
テ戰死シタ、之ヲ今ノ刑事局長サンナリ司  
法省ノ御解釋カラスレバ、オ前ハ妻デハナ  
イノダ、情婦ダ、隨テ其ノ子供或ハ何年夫  
婦關係ヲ續ケテ居ヤウトモ、戸籍謄本ニ載  
ツテ居ナイカラ、何モヤラヌノダトカラ皆  
針デ臨ンデハ、ソレデハ到底銃後ノ護リモ  
出来ヌシ、又餘リ應召者ニ對シテ氣ノ毒デ  
ハナイカト云フノデ、御承知ノ通リニ、所  
謂法律上ノ妻、法律上ノ親族デナクトモ、  
今度ハ準ジテ或ル給與ガ出來ルト云フコト  
ニナツテ居ル、是ハ人情デス、サウナクテ  
ハナラヌ、ソレダノニ此ノ保險計理人ノ御  
説明ニ對シテ、直チニ持ツテ來テ親戚デナ  
ケレバイカヌノダ、斯ウ云フヤウナ頭デ、  
此ノ保險計理人ノ問題ノミナラズ、一般ノ  
法律ノ罰則ヲ御持ヘ下サルト云フコトハ、  
私ハ一寸不平ヲ申上ゲタイ、不滿ガアル、  
申スマデモナク、私ガ假ニ私ノ親父ヲ殺シ  
タ、產婆モ知ツテ居ル、近所ノ者モ知ツテ  
居ル、親族ノ者モ知ツテ居ル、唯戸籍謄本  
ト云フ紙ツペラニ載ツテ居ラヌカラ尊族殺  
ニナラヌノダ、他人ニナルノダト、洵ニ不  
合理ナ話ダト思フノデアリマスガ、併シ司  
法省ハ親族ト云フコトハ民法ニ規定ヲ置イ  
テ、所謂法律上親族ニナラヌナラ、親ヲ殺

シテモ籍ニ入ツテ居ナケレバ尊族殺ニナラ  
スノダ、普通ノ他人ヲ殺シタノダト云フヤ  
ガ如何ニ成リ行クカト云フコトニ付テハ、  
テ居ルノデアリマス、隨テ私ガ今茲ニ引  
例シマシタ證憑湮滅ニシマシテモ、或ハ犯  
人藏匿ニシマシテモ、親族デナインダカラ皆  
處罰スルノダト云フヤウナ頭デ御訓示ニナ  
リ、又御訓令ニナリ立法サレタノデハ、非  
常ニ私ハ今ノ風俗ニ合ハヌト思フノデアリ  
マス、偶々戰時ナルガ故ニ、サウ云フ特別ナ  
取扱シタノダト云フヤウナ意味デハ私ハ  
ナイト思フ、是ハヤハリ多クノ人ガ傷ツキ、  
多クノ人ガ戰死サレ、多クノ人ガ國家ノ爲  
ニ犠牲ニナツタト云フヤウナ場合ニハ、必ズ  
シモ戸籍謄本ニ載ツテ居ナイ、國家ニ對シ  
テ婚姻シタ、養子縁組シタト云フヤウナ意  
思表示ヲセヌカラト云ツテ、ソレハ私ハ保  
護シテヤラナケレバナラヌト思フ、假ニ私  
ノ雇人ガ、私ガ選舉ノ時ニ違反ニ掛ツテ私  
ガ家ニ居ルノヲ、殊更ニ私ノ主人ハ選舉違  
反デ追窮サレテ居ルノデアリマスルガ、家  
ノ雇人ガ、私ガ選舉ノ時ニ違反ニ掛ツテ私  
ガ行ツテ、マア良イト云ツテ直グ保險料ヲ  
居ラナイ、少々ノ病氣ガアツテモ、保險醫  
者ノ如ク千數百万、簡易保險ヲ入レレバ何

前ハ申シマセヌガ僅カ五万圓カ三万圓ノ保  
険業者ノ如ク千數百万、簡易保險ヲ入レレバ何  
ウナ、洵ニ不合理ナコトガ社會ニ往々行ハ  
レテ居ルノデアリマス、隨テ私ガ今茲ニ引  
例シマシタ證憑湮滅ニシマシテモ、或ハ犯  
人藏匿ニシマシテモ、親族デナインダカラ皆  
處罰スルノダト云フヤウナ頭デ御訓示ニナ  
リ、又御訓令ニナリ立法サレタノデハ、非  
常ニ私ハ今ノ風俗ニ合ハヌト思フノデアリ  
マス、偶々戰時ナルガ故ニ、サウ云フ特別ナ  
取扱シタノダト云フヤウナ意味デハ私ハ  
ナイト思フ、是ハヤハリ多クノ人ガ傷ツキ、  
多クノ人ガ戰死サレ、多クノ人ガ國家ノ爲  
ニ犠牲ニナツタト云フヤウナ場合ニハ、必ズ  
シモ戸籍謄本ニ載ツテ居ナイ、國家ニ對シ  
テ婚姻シタ、養子縁組シタト云フヤウナ意  
思表示ヲセヌカラト云ツテ、ソレハ私ハ保  
護シテヤラナケレバナラヌト思フ、假ニ私  
ノ雇人ガ、私ガ選舉ノ時ニ違反ニ掛ツテ私  
ガ家ニ居ルノヲ、殊更ニ私ノ主人ハ選舉違  
反デ追窮サレテ居ルノデアリマスルガ、家  
ノ雇人ガ、私ガ選舉ノ時ニ違反ニ掛ツテ私  
ガ行ツテ、マア良イト云ツテ直グ保險料ヲ  
居ラナイ、少々ノ病氣ガアツテモ、保險醫  
者ノ如ク千數百万、簡易保險ヲ入レレバ何

上ゲマスガ、保険約款ナンデス、保険會社ハ餘り善イコトヲシテ居ナイ、ソレデ保険會社ノ約款ナドヲ見マシテモ、決シテ統一サレテ居ナイ、デン～バランコトヲヤツテ居ル、ソレデ商工省ハ今マデ監督シテ來タ、十分ヤツテ來タノダ、尙ホ是カラ擴大強化スルト云フケレドモ、今度ノ此ノ劃期的改正ニ約款ノ方ハ一ツモナイ、約款ナンカモ考ヘテ見マスト云フト、契約者ハ少シモ保護サレテ居ナイノデアリマス、其ノ保護サレテ居ナイ約款ヲ見ルト云フト、ルト云フト、恐ラク保険契約ヲスル時ニハ、事故ガ發生シタ場合ニ、會社カラ因縁文句ヲ付ケラレヌコトヲ見タコトガナイ、私共仕方ナク入ツテ居リマスガ、私ハ法律ヲ賣ニシテ、ソレデ飯ヲ食ツテ居リマスガ、約款ヲ讀ンダコトハアリマセヌ、ソレナラ其准一ノ證據デ、約款ニ斯ウアルデヤナイカ、何故約款ヲ讀ンデナイカ、約款ガ命ズ

所謂約款ガアルノダカラ、何故ソレヲ見ナ  
イノダ、馬鹿野郎ダ、權利ノ上ニ眠ツテ居  
ツテハ、到底駄目デハナイカト云フノデ、  
結局約款通り判決サレル、約款ガ唯一ノ證  
據ニナルト云フヤウナ實情ニアリマス、是  
ハ民事局長ニ御伺シタイト思ヒマスガ、先  
ヅ少クトモ今度ノ事變ニ於テ特例ヲ設ケテ  
居ルヤウナ經緯モ考ヘマシテ、犯人藏匿、證  
憑湮滅ノ親族トアルカラ、無論親族以外ノ  
者ハビシ／＼ヤルノダト云フ意味デ、之ヲ  
立法サレルト云フコトハ、國民ハ非常ナ不  
安ヲ感ズルト思ヒマスカラ、此ノ點ニ對ス  
ル、今ノ證憑湮滅、犯人藏匿ノ規定ト、ソ  
レカラ今度ノ事變ニ關シテ親族ニアラザル  
ニ拘ラズ、尙且ツ一定ノ準ジタル給與ヲス  
ルト云フ規定ヲ許ケタ趣旨ト、此ノ九十條  
トノ關係ニ付テ、ハツキリ一ツ刑事局長カ  
ラ御言明ガ願ヒタイ

會社ノ利益ヲ圖ツタトカ、若クハ賴マレバ、  
ナケレバ、無論罰シナイノデアリマス、  
モ其ノ上ニ任務ニ背イタ、自分ノ職責ニ非  
イタ行爲ヲシタ舉句ノ果ニ、尙ホ會社ノ財  
産上ニ損害ヲ加ヘタト云フ、三ツノ重ニ  
條件ヲ満タシテ、初メテ七年以下ノ懲役  
ハ、一万圓以下ノ罰金ニスルト云フ趣旨デア  
リマスカラ、會社ノ爲ニ圖ツテヤツタコ  
ハ、無論決シテ此ノ犯罪ニハナラヌノガ  
アル、又取締役カラ命ゼラレタル場合ノ人  
人ノ弱イ地位ノ點カラ申シマスレバ、洵ニ  
紅露サンノ御意見ノ通リデアリマスルガ、  
主人カラ命ジラレタ、取締役カラ命ゼラ  
タトシテモ、自己ノ獨自ノ考デ、他ノ保險  
會社等ノ利益ヲ圖ツタ場合テドヲ考ヘマフ  
ト、是ハドウシテモ重ク罰セナケレバナニ  
ヌノデアリマス、私ハ總テ使用人ナラバ、一律  
ニヒドク罰スルノダト云フコトハ考ヘテ  
ル次第デハゴザイマセス、尙ホ犯人藏匿、  
證憑酒滅ニ付テ、先刻私ノ申上ゲマシタカモ知  
トニ對シテ、御叱ヲ受ケタノデアリマスル  
ガ、固ヨリ私ノ言葉ガ足リナカツタカモ知  
リマセヌガ、法規ハ親族ガ證憑湮滅ヲスル  
犯人藏匿ヲスル場合ハ罰シナイコトニシテ  
雇人ガ主人ノ爲ニヤツタコトハ罰スルコト

モアルノダト云フコトヲ申シマシタガ、ソレハ無論法規ノ上ノコトヲ申シタノデアリマス、運用ニ付キマシテハ固ヨリ御趣旨ノ通りデアリマシテ、雇人ガ主人ノ爲ニ圖ツタ場合、犯人藏匿ヲシタ時分ニハ罪ニハナリマスルガ、現在全國各地ノ檢事局デヘ、決シテソレヲ起訴シテ居ナイノデアリマシテ、多クノ場合ハ起訴ヲ猶豫スル、或ハ弟子ガ自分ノ恩師ノ爲ニ犯人ヲ藏匿スルトカ云ツタヤウナ、洵ニ氣ノ毒ナ場合ガアリマスノデ、サウ云フ場合ハ何レモ實際ニ於テハ起訴猶豫ノ方針ヲ執ツテ居リマス、刑事訴訟法ハソレ等ノ場合ニモ、尙ホ起訴猶豫ノ權限ヲ與ヘテ居リマスノデ、運用ノ點ヲソレ等デ圖ツテ居ルノデアリマス、サレバト云ツテ親族以外ニ免責スルモノヲ擴ゲマシテ、雇人ガ主人ノ爲ニヤツタ行爲、或ハ弟子ガ恩師ノ爲ニヤツタ行爲ハ、總テ罰シナイトイフコトニナリマスルト、又行過ギテ弊害ヲ生ズル場合モアリマスノデ、立法技術トシテモ稍其ノ點ガ難カシイ所デアリマスルガ、何處ニ線ヲ劃スルカ、結局或ル程度ノ所ニ線ヲ劃シマシテ、ソレ以上ハ結局ハ運用ニ俟タナケレバナラヌト存ズルノデアリマス、ソレデ運用ニ付キマシテハ、只今紅露サンノ御説ノ通り、ソレ等ハ諸般ノ人情、

事情等ヲ十分斟酌シマシテ、犯罪ガ成立シ  
タラ、必ず罰スルト云フヤウナ方針ハ、無  
論執ラヌノデアリマス、此ノ保険業法ニ於  
キマシテモ、保険計理人ノ犯罪ノ處理ニ付  
キマシテモ、固ヨリ運用ニ付キマシテハ、  
只今御述ニナリマシタ御趣旨ハ御尤デアリ  
マスルカラ、運用上ニハ十分ニ留意致シ、  
又検察當局ニモ其ノ趣旨ハ傳ヘル考デ居リ  
マス

前ノ前ノ選舉デゴザイマシタガ、私親友デツキリ覺エテ居リマセヌガ、登記料トソレカラ不動產取得税デシタカラ送ツタ、ソレハ本人ハ舊ノ節季ノコトダカラ登記モシタリ、片附ケヨウト云フノデ送ツタ所ガ偶ニ解散ニナツデシマツタ、ソレガ間髪ヲ入レズシテデアツタカラ、是ハ選舉ノ費用ニ送ツタノダラウト云フコトデ、到頭一審デ慥カ有罪ノ判決ヲ受ケタ、サウ云フ事實ハ澤山アル、計理人ガ會社ノ爲ニヤツタノダト思ツテヤツテモ、ソレヲ會社ノ爲ニヤツタノダト御解釋下サレバ宜シイノデスガ、ヤハリ周圍ノ事情ヲ十分御判断下サルノデハナク、周圍ノ事情ヲ計理人ニ不利益ニ不利益ト御解釋ニナル傾向ガアル、決シテ人權蹂躪デアルトカ何トカ云フコトデ申上ゲルノデハアリマセヌガ、一應檢察當局トシテ、是ハ怪シイ、選舉ノ直前ニ金ヲ送ツタノダカラドウモヲカシイト云フコトヲ言フ、私共其ノ時、本當ニ買收費トシテ送ツタノダラ、百八十九圓何十錢ト云フヤウナ半端ナラナリ、電報デモ打テバ、二時間モスレバ

ル馬鹿ガアリマスカ、イヤ分ラヌ、斯ウ検察  
當局ハ替ヲ組ンデ、自分ノ名前ヲ堂々ト書イテ送  
一審デハ有罪ノ判決ガアツテ、控訴院ニ行ツ  
テ無罪ニナリマシタ、斯ウ云フ風デ、計理  
人ガ會社ノ利益ノ爲ニヤツタノハ處罰シナ  
イト仰セラレマスケレドモ、併シ實際當局  
ハ御忙シイカラ、一々此ノ事件ノ眞相ハド  
ウダラウト云フコトヲ御確スニナツテ、サ  
ウシテ御判斷下サル暇モナイ、身體モオ續  
キニナラヌデセウガ、結局是ハ人員ヲ殖ヤ  
シテ、檢察當局ヲ樂ニシテ戴カナケレバ出來  
ヌコトカト思ヒマスケレドモ、併シ局長サ  
ンガサウ云フヤウナ御趣旨デ必ズシモ法文  
ニ因ハレナイ、計理人ヲ保護シテヤル、七  
年以下ト云フヤウナ、又一万圓以下ト云フ  
ヤウナ重刑ハ科シテ居ルケレドモ、是ハ運  
用ノ時ニ其ノ極刑マデ行クノデハナイト云  
フ、ヤウナ御趣旨デ、殊ニ新設サレタ規定ダ  
カラ、御訓示ト云フカ、或ハ御指示下サル  
ト言フノデスカラ、計理人モ安心シテ仕事  
ガ出来ルト思ヒマスカラ、其ノ御言明ヲ私  
共信ジマシテ、而シテ記錄ニハツキリ残シ  
テ、刑事局長サンニ對スル質問ハ是デ打切  
リタイト思ヒマス

ソレカラ民事局長サンハ大變オ忙シイ時留保サセテ戴キマシテ、民事局長サンニ伺ヒタイノデアリマスガ、別ニ法文ノ何條ガドウ斯ウト云フノデバアリマセヌガ、先ヅ第一ニ破産法ノ點デアリマス、是ハ少シ細カイ質問ニナリマスケレドモ、非常ニ重大ナコトニナルト思フノデアリマスガ、申上ゲルマデモナク、破産ノアツタ場合ニ、或ハ強制和議其ノ他ノ場合ニデモ、今マデノ實例トシマシテハ、總テ辯護士トカ計理士トガ云フヤウナ者ガ、所謂一般ノ計理士デアリマスガ、是ガ管財人ニナリ、整理委員ニナリ、又計理士ガ補助者トナツテ破産手續ヲ進メテ居ルノデアリマス、所ガ近時非常ニ破産申請ガ多ウゴザイマシテ、破産申請ヲシテヤレ、サウスレバ和解ヲ申込ンデ來ルダラウ、破産スルノハ厭ダ、僅カノ金ダカラ親戚デモ拂フダラウト云フコトデ、破産ノ申請ヲ和解ノ一つノ手段ニスルヤウナ傾向スラ見エルヤウニナリマシテ、非常ニ破産ノ申請ヲ和解ノ數ガ多イノデアリマスガ、サウ云フ實情ニアリマス爲ニ、特殊ノ技能ヲ持ツテ居ル辯護士ガ必ズシモ破産管財人ニナリ、整理委員ニナルト云フコトハ望ミ得ナイノデアリマス、隨テ若シ此

ノ業法ニ依ツテ保険會社ガ整理ヲ要スル、  
破産ニナルト云フ場合ニハツ特別ノ御配  
慮ヲ願ヒタイ、言ヒ換ヘレバ今問題ニナツ  
テ居リマス此ノ九十條ニハ計理人ト云フモ  
ノガアルカラ、之ヲ活用サセテ戴キマシテ、  
一般破産ノ場合ニモ此計理人ヲ整理委員、  
或ハ其ノ他ノ補助者ト云フヤウナ風ニ使フ  
ト云フヤウナコトニシテ戴ケレバ、此ノ九  
十條ヲ商工省デ御設ケ下サツタ趣旨モ活キ  
マスシ、却テ又裁判所ノ方モ御便宜ダラウ  
ト思ヒマスガ、サウ云フ點ニ對シテ何カ御  
考慮下スツタカ、又御考慮ガナイトスレバ  
ドウ云フモノカ、其ノ點ヲ先づ伺ヒタイト  
思ヒマス

リマシタ場合ニ、此ノ保険計理人ヲ活用スルト云フコトニ付テハ、私共モ左様ニ考ヘルト云フコトニ付テハ、私共モ左様ニ考ヘ  
ノデアリマスガ、此ノ保険計理人ノ地位ヲ向上スルコト、又其ノ職責ヲ充實スルト云フコトハ固ヨリ必要ノコトデアリマシテ、此ノ點ニ付キマシテハ司法省ト致シマシテモ、商工省ト早クカラ合議ヲ致シテ居リマシテ、現ニ此ノ法規ノ根本ニナリマシタ商工省内ニ設ケラレマシタ保険業法改正調査委員會ニハ、私モ末席ヲ汚シマシテ、是等ノ法規ノ制定ニ付テ協議ニ與ツタ次第デアリマス、今御述べニナリマシタ保険計理人ノ地位ノ向上ノ一端トシテ、破産管財人若クハ其ノ補助者トシテ、之ヲ活用スルト云フコトニ付テハ、極メテ御同感デアルト云フコトヲ、茲ニ明言致シテ置キマス

ニ御伺シタイノデアリマスガ、是ダケノ劃期的ノ此ノ業法ノ改正ヲナサルノニ、アナタハ明晰ナ頭腦ヲ持チ、又各種方面ニ研究心ヲ持ツテ居ラレ、將來ハ次官トナリ大臣トナリ、或ハ大審院長トデモナラナケレバナラヌ人デアルニ拘ラズ、何故モウ少シ大局ヲ見テ此ノ改正ヲナサラナカツタカト云フコトヲ、私ハ憾ミトシテ居ルノデアリマス、非常ニ公平デアリ、頭腦明晰ノアナタガ何故此ノ約款ノ改正ト云フコトニ付テ極力御主張下サラナカツタカト云フコトヲハ極メテ遺憾トスル者デアリマス、此ノ點ヲ先づ伺ヒタイ

省ニ於テ十分ノ監督ニナリマスルコトハ私  
共固ヨリ疑ツテ居ナイノデアリマス、併シ  
タ、又將來モナイトモ限ラナイノデアリマ  
ス、之ニ付キマシテハ保険業法ト致シマシ  
テ其ノ取締ヲスルコトハ固ヨリデアリマス  
ルケレドモ、又別ニ商法上ノ問題ト致シマ  
シテ、左様ナ約款ノ效力ニ付テ特ニ實體法  
規ヲ定ムル必要ガアルグラウト思フノデア  
リマス、紅露委員御熟知ノ通りニ、今日ノ  
商法中ノ保険ニ關スル規定ハ決シテ十分デ  
ハナイノデアリマス、大分舊イ法規デアリ  
マシテ、隨分保険會社ニ都合ノ好イヤウナ  
規定ガ大分出來テ居ルノデアリマス、又御  
承知ノ通り多ク契約自由ノ原則デ、強行的  
規定ガ少イモノデアリマスカラ、得手勝手  
ナ約款ヲ作ルト云フコトハ決シテ無ク、ハナ  
イノデアリマス、デアリマスルカラ此ノ規  
定ヲ改ヌマシテ、或ル種類ノモノヲ强行規  
定トシ、又或ル種類ノモノヲ片面的ト申シ  
マスルカ、半分ダケ强行規定トスル、即チ  
コトガ出來ナイ、斯ウ云ツタ趣旨ノ規定ヲ  
相當加ヘル必要ガアルト思フノデアリマ  
ス、實ハ私共ニ於キマシテ保険法ノ全般的

デアリマス、昨年御協賛ヲ願ヒマシタ商法中改正法律ハ總則及ビ會社ニ關スルダケノ問題デアリマシテ、自然商行爲以下ニモ及バナケレバナラナイノデアリマス、唯種々縮ニ存ズルノデアリマス、即チ私共ト致シマシテハ保険法ノ改正ト云フコトト、又此ノ案ガ幸ニ御協賛ヲ得マスルナラバ、之ヲ實施シテ是ト相俟ツテ完璧ヲ期シタイト考ヘテ居ル次第デアリマス

○紅露委員 民事局長ノ洵ニ明快ナ御答辯デアリマスルガ、御答辯ノ御趣旨ハ結局商法ノ改正ヲ俟ツテ、サウシテ此ノ業法ト無論相俟ツテ完璧ヲ期シタイ、斯ウ云フヤウナ御趣旨ト思フノデアリマス、ソレモ結構デアリマスケドモ、是ハモウ私ガアナタニ申上ゲルマデモナク、實際保險約款ト云フモノハ勝手ニ出來テ居ルノデアリマス、殊ニ獨逸ノ如ク、其ノ他ノ各國ノ如ク强行規定ガ少クテ、ミンナ契約自由ノ原則ニ委セテ、各社勝手ナコトヲヤランテ居ルモノデスカラ、何カ訴訟デモ起リマスト、結局被保險者、契約者ノ方ガ不利益ニ陥ツテ居ルノデアリマス、是ハ將來商法ヲ改正ニナリ、又同時ニ商工當局ニ於カセラレマシテ

モ、本法運用ニ對シテ御参考ニナルト思ヒ  
マスガ、是ハ雑誌デ讀ンダノデモアリマセ  
ヌ、私ガ實際ニ扱ツタ事件デアリマス、是  
ハ名前ハ申シマセヌガ、五大會社ノ一ツデ  
スガ、名前ハ申シマセヌ、會社ノ名前モ控  
事ヲヤツテ居ル、是ハ丁度私ノ縣ノ問題デ  
スガ、名前ハ申シマセヌ、會社ノ名前モ控  
ヘテ置キマスガ、儲カ五万圓デシタカ七万  
圓デシタカ、五大會社ノ中ノ二三ニ保険契  
約ヲ締結シテ置イタ、所ガソレハ私ノ選舉  
ノ委員ヲ致シテ居ル者ノ妹デゴザイマシ  
テ、相當ノ資產家ニアリマス、兎ニ角十万  
圓近イ保険ヲ掛ケテ居ルノデアリマス、私  
ハ無論掛ケテ居ルコトヲ知ラヌ、一昨々年  
郷里ヘ歸リマシテ選舉ヲヤツテ、幸ニ當選  
致シマシテ、歸ラウト思ツテ居リマス時  
ニ、其ノ委員ノ一人ガ、實ハ斯ウ云フ譯デ  
東京ノコソナ會社ニ保険ヲ三ツカ四ツ掛ケ  
テ置イタノデスガ、他ノ各會社ハ皆吳レタ  
ノデスガ、某保險會社ダケハ一万圓デスカ  
二万圓デスカ吳レマセヌ、吳レタノモ宜イ  
來テ、一割ニ負ケテ二千圓トカ三千圓ニシ  
ロト云フ、ソソナコトハ出來ヌト言ソテ居  
ル内ニ來ナクナツタカラ、私ノ方カラ行ツ  
タ、所ガオ前ノ方ハ保険詐欺ヲシテ居ル、

私ノ方ハ拂ハヌ、ノミナラズ他ノ會社カラ  
何万圓カ金ヲ貰ツテ居ルガ、其ノ金モ皆取  
ラレテシマフノダカラ、私ノ方モ一割カ二  
割ニ負ケテシマヘ、サウスレバ他ノ方ハ勘  
辨シテヤルカラト言ツテ拂ツテ吳レナイ、  
仕方ガナイカラ秋田代議士ノ所ヘ行ツテ話  
ヲシタ、ソレハ困ツタナ、ソレデハ私ガ電  
話ヲ掛ケテヤウラト云フノデ、社長ニ電話  
ヲ掛ケテ貰ツタ、ソレカラノ秋田參議ノ祕  
書ガ行ツタケレドモ、劍モホロロニ斷ハラ  
レテ何ニモヤツテ吳レマセヌ、ドウモ仕方  
ガナイカラアナタ訴訟シテ吳レ、斯ウ云フ  
ヤウナコトヲ、私德島デアリマスカラ歸リ  
ガケニ波止場デ頼マレタ、困ツタナ、サウ  
ツテ、其ノ事情ヲ聽イタ、所ガ今ノヤウナ  
譯デアル、ソレカラ段々調べテ見タ所ガ自  
殺シタト言フノデス、ソレカラモウ一ツハ  
保険料ヲ支拂フ能力ガナイト言フノデス、  
併シ調べテ見ルト、相當ノ資産ヲ持ツテ居  
ル、養蠶家デ、蠶ノ收入モアリ、又農產物  
ノ收入モアル、自殺シタト云フノハ自分ノ  
妹ガ京都ノ帝大病院ニ入院シテ、ソレノ看  
護ニ行ツテ居リマシテ歸リガケニ大阪デ電  
車ニ觸レテ死ンダ、自分ノ妹ハエライ手術

ヲシテ助カツタケレドモ、自分ハ死ンダノ  
デアリマス、洵ニ簡単ナ事件デアリマス  
モウ五十幾ツデシタガ、夫ガ死ンデ未亡人  
デアツタサウデアリマス、ソレニ十五六カ  
六七ノ子供ガ一人アツタ、ソコデ親族會ヲ  
ヤツタ、其ノ親族會ノ一人ガ、ソンナ子供  
ニ十万圓近クノ保険料ヲヤツタ所デ馬鹿馬  
鹿シイカラ皆デ分ケヨウデヤナイカト云フ  
ノデ、取ツタ金ヲ分ケヨウトシタ所ガ親族  
會ノ一人ニ眞面目ナ人ガアツテ、ソンナ馬  
鹿ナコトガ出來ルカト云フノデ反對シタ、  
サウシテソレヲ主張シタ一人二人ノ者ガ各  
會社ニ——ドレモ皆一流會社デ、所謂五大  
會社ノ一つデスガ、ソレニ向ツテ、アレハ  
保險詐欺ヲシタト云フヤウナ投書ヲシタ、  
ソレデ私ガ歸ツテ來タラ、支拂フシタ會社  
ハ、コンナ投書ガ來マシタケレドモ、  
私ノ方デモ調ベマシタガ其ノ事實ガナ  
イカラ拂ヒマシタト言フノデス、兎ニ角  
各會社ニ投書シタ、ソレデ親族會ノ他ノ  
者ガ怒ツテ、其ノ親族會員ノ免黜ノ訴訟  
ヲ致シタ、ソレハ私ガ扱ツタノデハナ  
イ、徳島市ノ辯護士會長ノ谷原君ガヤ  
ツタノデスガ、分ケテ一二万圓フンダクツ  
テシマハウト言ツタ人ハ、徳島ノ地方裁判

所デ判決サレテ、親族會ノ會員ヲ免黜サレタ、ソレデ癡ニ障ルモノデスカラ、今度ハ圖々シク免黜ノ訴訟中ニ、徳島ノ地方裁判所ニ、アレハ保険詐欺ヲシタノダ、アレハ自殺ヲシタノデヤナイ、附イテ居ツタ者ガ電車線路ノ中ニ突倒シテ殺シタノダト云フコトヲ告訴シタノデアリマス、サウ云フ告訴ガ出タノデ、時ノ中谷檢事ガ是ハ重大ダト云フノデ、慥カ十數人ヲ喚シテ皆調べ、事實ハ全然ナイ、ソレモ不起訴ニナツテ德島ノ新聞ニ出テシマフ、今度ハ誣告ノ告訴ガ出テ、本人ガ謝ツタト云フコトデ、新聞ノ記事モ、ソレカラ免黜ノ訴訟ノ記録モ、總テ商工省ノ後藤保險局長ノ手許ヘ出テ居ツタ、出テ居ツタケレドモ保險局デハ何等サウ云フコトハ御調ニナラヌ、仕方ガナイカラノハ是デス、無論本人ガ行ツテ社長ニ面會ヲ求メタ所ガ、社長ニ分リハセヌ、強ヒ泣キ／＼歸ツテ來タ、五大會社ノ一ツデサ所ニ、アラウトハ私ハ信ジナカツタ、所ガ行ツテ見タ所ガ、今度ハ值上

ヲシマシテ、アナタガオ出デニナツタカラソレデハ駄目ダ、專務ニ會ハウト云フノデ専務ニ會ツテ居ツタガ、專務ニ聞イタ所ガ分ラヌカラ、係ノ者ヲ呼ンダ、所ガ夏デハアリマシタゲレドモ、「ワイシャツ」ガ腕へ捲付イテ氣持ガ惡カツカドウカ知リマセヌガ、私ト専務ガ話シテ居ル際ニ、此ノ野郎何ヲ……ト云フヤウナ態度ヲ以テ私ニ向ツテ來タ、併シマア結局私ガ代議士デアリ、辯護士デアルト云フコトガ分ツタノデセウ、急ニペコ／＼シテ、終ヒニハ「エレベーター」ノ所マデ送り出シテ來タリシタ、私ハソレデ熱々感ジタ、成程是デハ面會強要デ警察ヘ突出スト言ツテ威カサレテ逃げテ歸ツタノハ無理ハナイ、代議士デアリ、辯護士デアリ、小理窟モ言ヒ、小ヤカマシイコトモ言フト思ハレテ居ル私ニ對シテスラ私ハ調べニ行ツタ所ガ——私ガ申上ゲタコトモ言フト思ハレテ居ル私ニ對シテスラ、サウ云フ態度ヲ以テ臨ンデ來ル、而モ其ノ一件記録ト云フモノハ保險局長ノ所ニ出テ居ル、出テ居ルガ尙且ツ保險局デハ何等ノ御處置モナサラヌ、サウ云フヤウナコトデ、一體監督ガ出來ルカドウカト云フコト私ハ申上ゲタイノデアリマス、山口事務官ナンカモ課長サンデ、若干御承知グラトヲ私ハ申上ゲタイノデアリマス、山口事務官ナンカモ課長サンデ、若干御承知グラウ云フコトガアラウトハ私ハ信ジナカツタ、所ガ私ガ行ツテ見タ所ガ、今度ハ值上

ヲ研究シ始メテ三年ニナリマス、ソレマデテ起ス位デ、コンナニ親身ニナツテ保險ト云フモノヲ研究シタコトハナカツタ、所ガ会社ヘ行ケバ勝手ナコトヲ言フ、是デハ逆モ救ハルベキモノデハアリマセヌ、私ハ實ハ其ノ時マデハ、マア／＼五大會社ダトカ、サウ云フ大キナ會社ハソンナニ惡イ事ヲシナイト思ツテ居ツタガ、五大會社ノ一ツデ以テ斯ウ云フコトヲヤツテ居ル、是デハ弱小會社ナドハ何ヲヤツテ居ルカ分ラヌ、是ハツ日本全國ノ國民ノ爲ニ調べテ、何トカ救濟シテヤラナケレバイカスト云フノハ、サウ云フコトガ動機ニナツタノデアリマス、マアソレハソレトシテ、モウ一寸申上ゲマスガ、到頭拂ハヌ、結局夜店ノチコツチト走リ廻ツテ、其ノ數千圓ノ手前、ドウシテモ自殺グ／＼ト頑張ルノダサケテ吳レ……訴訟ニナツタ、サウシテ辯護士ガ入ツテ爭ツテ居ル、其ノ争ツテ居ツテ歸ツテ來タラ、一万圓デシタカニ負ケテ、バナナ賣ミタイニ、私ガ訴訟ヲ起スト言フノデ、何デモ風説デシタケレドモ、真相所ヘ投書ガ來タカラ、テツキリサウダト云モ未亡人デ十万圓近クモ保險契約ヲシテ居ルノハラカシイ、保險詐欺ダト言ツテ居ル事件ヲ其ノ人ガ發見シタノダサウデス、是カ事務員カ何カ知リマセヌガ、實際ニ何カ事件ガ明カニナツテ居ルノニ拂ハヌト云フノハ、ハイカヌ、其ノ眞相ハ其處ノ會社ノ外交員タト言ツテ投書マデシテ居ル、サウ云フ事

ヲ研究シ始メテ三年ニナリマス、ソレマデテ起ス位デ、コンナニ親身ニナツテ保險ト云フモノヲ研究シタコトハナカツタ、所ガ会社ヘ行ケバ勝手ナコトヲ言フ、是デハ逆モ救ハルベキモノデハアリマセヌ、私ハ實ハ其ノ時マデハ、マア／＼五大會社ダトカ、サウ云フ大キナ會社ハソンナニ惡イ事ヲシナイト思ツテ居ツタガ、五大會社ノ一ツデ以テ斯ウ云フコトヲヤツテ居ル、是デハ弱小會社ナドハ何ヲヤツテ居ルカ分ラヌ、是ハツ日本全國ノ國民ノ爲ニ調べテ、何トカ救濟シテヤラナケレバイカスト云フノハ、サウ云フコトガ動機ニナツタノデアリマス、マアソレハソレトシテ、モウ一寸申上ゲマスガ、到頭拂ハヌ、結局夜店ノチコツチト走リ廻ツテ、其ノ數千圓ノ手前、ドウシテモ自殺グ／＼ト頑張ルノダサケテ吳レ……訴訟ニナツタ、サウシテ辯護士ガ入ツテ争ツテ居ル、其ノ争ツテ居ツテ歸ツテ來タラ、一万圓デシタカニ負ケテ、バナナ賣ミタイニ、私ガ訴訟ヲ起スト言フノデ、何デモ風説デシタケレドモ、真相所ヘ投書ガ來タカラ、テツキリサウダト云モ未亡人デ十万圓近クモ保險契約ヲシテ居ルノハラカシイ、保險詐欺ダト言ツテ居ル事件ヲ其ノ人ガ發見シタノダサウデス、是カ事務員カ何カ知リマセヌガ、實際ニ何カ事件ガ明カニナツテ居ルノニ拂ハヌト云フノハ、ハイカヌ、其ノ眞相ハ其處ノ會社ノ外交員タト言ツテ投書マデシテ居ル、サウ云フ事

<p>ヤツテ居ルノデスカラ大變ナモノデアル、ダカラ保険約款ト云フモノハ餘程嚴重ニシテヤツテ戴カヌトイカヌト思フ、結局訴訟ヲシテ居ツテ、サウシテ應召シテ戰地ニ行クト云フコトニナツテ、其ノ出發ノ一週間前マデ引張ル、結局半分デハ駄目ダ、全額出セト私ガ言ツタ所ガ、半分ハ出ス、殘リノ半分五千圓デシタカ、八千圓デシタカハ出征ノ見舞金トシテ出ス、サウシナケレバ間ニ入ツタ者ノ面目ガ潰レテシマフカラサウヤツテ吳レト云フコトデ、聯隊區ノ人ガ怒ツテ、今度ハ憲兵隊ニ話ヲシテサウ云フ不都合ナ會社ハ一體誰ガドウ云フコトヲシテ居ルノカ、調べテ見ヨウト云フコトデ、初メテ一週間前ニ解決シタノデス、アレデ戰爭デモナケレバ——現ニ言フノダサウデ</p>
<p>ニシタカ、残リノハ、是モ亦十分注意ヲスウ云フ委員會ヲ持ヘテ、商法ノ改正マデ、司法省ナリ商工省、厚生省アタリデ御相談下サイマシテ、何モ獨逸ニ則ツテヤレト云フノデハアリマセヌガ、マアサウ云ツタヤウナモノヲ設ケテ戴イテ、被保險者契約者ノ保護シテ戴クト云フ御意思ハナイカ、其ノ點ヲ一つ伺ツテ置キタイト思フノデアリマス</p>
<p>○牧政府委員 丁度御尋ガアリマシテ好イ機会デアリマスカラ申上げマス、御指摘ノ事件ハ過去ノコトデゴザイマンテ、私審カラ一割ニ負ケロ、見舞金デ宜カラウ、ダ云フコトデ結局一万圓ナラ千圓位デ片附ケテ居ルサウデアリマス、マア是ハ私ガ實際體驗シタコトナノデ嘘デハナイノデス、斯ウ云フヤウナ事實ハ澤山アルグラウ</p>
<p>ト思フ、ソレデ商法ノ御改正ヲ待チ、又保険約款ヲ統一スルト云フコトハ洵ニ結構デアリマスケレドモ、斯ウ云フヤウナ例ハ幾ラモ聞クノデアリマスカラ、ドウカ私ノ司法省ニ對スル、又商工省ニ對スル希望トシテハ、折角今度監督權ノ擴大強化ガアツタメデスカラ、一ツ強化シテ戴クト同時ニ、保険約款ニ對シ、獨逸ノヤウニ審查機構ヲ設ケテ、審查委員會ト云フヤウナモノヲ一つ持ヘテ戴キタイ、サウシテ十分加入者ヲ保護シテヤツテ戴キタイ、ニ審查機構ヲ設ケテ、審查委員會ト云フヤウナモノヲ一つ持ヘテ戴キタイ、サウシテ行キ得ナインデアリマスガ、其ノ精ニナリマスカラ、或ル程度以上ハ保険局トシテハ行キ得ナインデアリマスガ、其ノ精神トシテハ十分注意ヲ加ヘテ行キタイト考ヘテ居リマス、ソレカラ約款ニ付キマシテ色々御話ノヤウナ點ハ、是モ亦十分注意ヲスウ云ナウナ事件ガ動機トナリマシテ、ヘテ居リマス、ソレカラ約款ニ付キマシテシ、將來契約者ニ對シテ非常ニ不利益ニナラナイヤウニ、契約者ノ利益ヲ害シナイヤウニシタイト考ヘテ居リマス、併シナガラ非常ニ複雜ナモノデゴザイマスカラ、今後御趣旨ニ依リマシテ慎重ニ研究シマシテ、委員會等ヲ設ケルガ宜イカドウカト云フ點モ研究シテ見タイト思ツテ居リマス</p>
<p>○大森政府委員 具體的ノ事例ニ付テハ固ヨリ申上ゲルコトヲ御遠慮申シタイノデアリマスルガ、保険會社デ會テ好マシカラザル營業振リヲ致シタモノガアルト云フコトハ私共モ耳ニ致シテ居リマス、サウシテ司法省ト致シマシテハ、保険行政ニ關スル監督權ハ勿論ナイノデアリマスケレドモ、保</p>

<p>社カラ聞イタノデスガ、女デ十万圓近クノ契約ヲシテ居ル者ハ日本デ三人シカナイサウデアリマスガ、洵ニ金額ノ大キイト云フノハ少イヤウデアリマス、零細ナ金ヲ保険料トシテ納メルノハ別トシマシテモ、保険契約自體モ少イモノガ非常ニ多イヤウデアリマスカラ、コンナ生温イ保険業法ノ改正デハ、殊ニ保険約款ガ加入者及ビ被保険者ノ利益ノ爲ニ改正セラレヌ以上ハ、保険ニ關スル所是ハ御無理ナ質問カモ知レマセヌガ、前ノ手形ノ規定見タイニ——ソレハ無論業者バカリヲ責メル譯ニハ行キマスマイ、中ニハ保険詐欺ヲスル奴モアルノデアリマスカラ、必ズシモ加入者ノミ善イトハ申シマセヌケレドモ、少クトモ保険約款ト云フモノガコトデ、サウシテソレニ依ツテヤルト云知義務ノ違背ノ問題デアツテ、大シタ調ヲスルノデハナインデアリマスカラ、一つ保険訴訟トモ申シマスカ、昔ノ手形訴訟、爲替訴訟ノヤウナ工合ニ、小サナ契約者ヲ保護シテヤルト云フ意味ニ於テ——會社デスカラ假執行ノ規定ヲ付ケルト云フヤウナ必要ハナイデセウケレドモ、特別ニ審理ヲ</p>	<p>事訴訟法若クハ、本法ヲ改正スル場合ニ御考慮ニナツテ戴ケナイモノカ、其ノ御意思ガナイカドウカ、伺ツテ置キタイ○大森政府委員 今日民事訴訟ノ實際ニ於キマシテ、審理ガ相當遲延致シマスル事實ハ洵ニ申譯ガナイコトデアリマス、デアリマスカラ一般的ニ、簡易ナ事件ニ付キマシテ迅速ニ審理解決ガ出來マスルヤウニ、何カ特殊ノ手續ヲ案出致シタイト思ツテ、只今考慮中デアリマス、其ノ際ニ御趣旨モ十分酌ミマシテ、何トカ適當ナ考ハナイカ、研究シテ見タイト存ジテ居リマス</p>	<p>○紅露委員 ソレニ附帶致シマシテモウ一ツ伺ヒタイノデスガ、此ノ會社ハ三十三社アリマスガ、其ノ他ノ損害保険ナント云フモノハ大シタイザコザハナイ、此ノ頃調停流行リト云ツテ鑑護士ナンカ非常ニ反対シマスガ、今年ノ人事調停ナドハ私ハ雙手ヲ舉ゲテ贊成シテ居ツタ、幸ニモ成立致シヤウデアリマスガ、一つ訴訟ト同時ニ調停ノ方ヲ、此ノ保険ニ付テ設ケテ戴イタ方ガ宜クハナイカト思ヒマス、ト申シマスノハ</p>	<p>正ニナツタモノ等ノ資料ガアツタラ吳レト云ツテ保険協會ニ手紙ヲ出シテ、大抵ハ貰、ツテ居リマス、商工省アタリデモ之ヲ相談シテ居リマス、商工省アタリデモ之ヲ相談</p>
<p>云ツテ保険協會ニ手紙ヲ出シテ、大抵ハ貰、ツテ居リマス、商工省アタリデモ之ヲ相談シテ居リマス、商工省アタリデモ之ヲ相談</p>	<p>○大森政府委員 保険ト調停トノ關係ニ付キ云ツテ保険協會ニ手紙ヲ出シテ、大抵ハ貰、ツテ居リマス、商工省アタリデモ之ヲ相談シテ居リマス、商工省アタリデモ之ヲ相談</p>	<p>正ニナツタモノ等ノ資料ガアツタラ吳レト云ツテ保険協會ニ手紙ヲ出シテ、大抵ハ貰、ツテ居リマス、商工省アタリデモ之ヲ相談シテ居リマス、商工省アタリデモ之ヲ相談</p>	
<p>考慮ニナツテ戴ケナイモノカ、其ノ御意思ガナイカドウカ、伺ツテ置キタイ○大森政府委員 今日民事訴訟ノ實際ニ於キマシテ、只今適切ナル御注意ガアリマシタ、ツテ居リマス、商工省アタリデモ之ヲ相談</p>	<p>考慮ニナツテ戴ケナイモノカ、其ノ御意思ガナイカドウカ、伺ツテ置キタイ○大森政府委員 今日民事訴訟ノ實際ニ於キマシテ、只今適切ナル御注意ガアリマシタ、ツテ居リマス、商工省アタリデモ之ヲ相談</p>	<p>考慮ニナツテ戴ケナイモノカ、其ノ御意思ガナイカドウカ、伺ツテ置キタイ○大森政府委員 今日民事訴訟ノ實際ニ於キマシテ、只今適切ナル御注意ガアリマシタ、ツテ居リマス、商工省アタリデモ之ヲ相談</p>	
<p>○大森政府委員 保険ト調停トノ關係ニ付キ</p>	<p>云ツテ保険協會ニ手紙ヲ出シテ、大抵ハ貰、ツテ居リマス、商工省アタリデモ之ヲ相談</p>	<p>云ツテ保険協會ニ手紙ヲ出シテ、大抵ハ貰、ツテ居リマス、商工省アタリデモ之ヲ相談</p>	

昭和十四年三月一日印刷

昭和十四年三月三日發行

衆議院事務局

印刷者 内閣印刷局